

～安心を未来へ～

2011年10月12日発行 10月号 No. 200

◇「大高会長をお招きして」

研修副委員長 藤倉 泰徳〔足立支部 (株)藤倉運輸〕

去る9月1日、東貨健保会館で行われた第6回ロジ研正副本部長会議・第1回本部連絡委員会合同会議に、7月に東ト協新会長に就任された大高会長をお招きし、意見交換会を開催いたしました。

約1年前の会長代行時代にも活発な意見交換をさせていただきましたが、今回は会長ご就任後直ぐに各支部を巡回され、支部の現状把握に努められるなどその行動力は我々ロジ研メンバーにとって大いに刺激となりました。

大高会長から「三組織、とりわけロジ研の皆さんの活動には期待している。シンクタンクとしてだけでなく、協会の先鋒として切り開く役目を担ってほしい。」というお言葉をいただきその責任の大きさと重さに身震いしたのは私だけではないはず。

竹内本部長(副会長)を中心にメンバー全員が<大高丸>の漕ぎ手になる決意を新たにされた有意義な会合となりました。

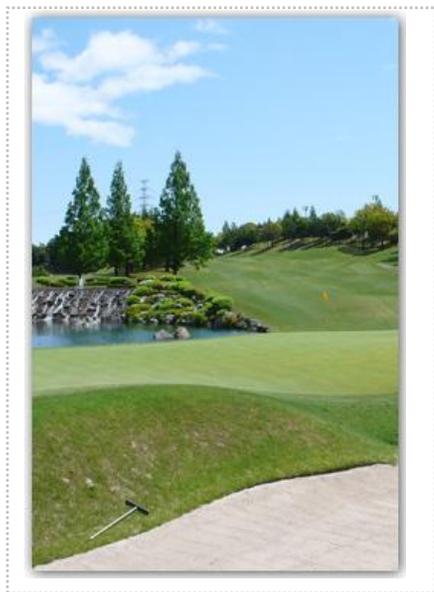
その後、場所を移しての懇親会では美味しい料理とワインに舌鼓を打ちながらロジ研や業界の将来について時間を忘れて様々なお話をさせていただきました。

大高会長をはじめ、綿引専務、安藤常務、榎本室長、事務局の皆さん本当にありがとうございました。第2回もよろしくお願いたします!

◇「ロジ研チャリティゴルフ」

企画副委員長 西野 毅〔城東支部 (株)誠和〕

ロジ研チャリティーゴルフコンペを、9月29日(木)午前7時30分集合し、埼玉県入間郡のエーデルワイスゴルフクラブで開催しました。当日はゴルフ日和の天候の中、26名7組でのコンペとなりました。



競技方法は、新ペリア方式で、同ネットの場合は、

LOW-HDCP 順、生年月日順に、アトラクションとしてドラコンとニアピンを各ホールで競い合いました。

優勝は幹事の斉藤彰悟さん。おめでとうございます。ドラコン、ニアピンは省略しますが、今回のチャリティで76,500円集まりましたことをご報告いたします。

ご協力ありがとうございました。

◇お知らせ《○ロジ研行事予定》

- 10/17(月)16:00～東ト総合会館6階研 正副本部長会議
- " 17:30～ " ロジ研オープン
- ・10/21(金) 8:30 関ト協青年部会研修見学会(JAL等)
- 10/21(金)～温故創新(台湾・台北)
Aコース10/21～23、Bコース10/22～24、Cコース10/21～24
- ・11/2(火) 16:00 三組織連絡会 東ト総合会館6中
- 12/14(水) 正副・幹事会

◇「首都高速道路値上げは本当に実行されるのか？」

少し前の業界紙で首都高料金が<来年一月より事実上の値上がり?>との記事を目にした。確か首都高料金値上げは区間の償還期限問題や時節柄、不況下での値上げは一般社会の中では逆行するとの事で、延期になったと記憶している。

震災後の経済が芳しくないこのタイミングでの値上げを希望する<首都高速道路(株)>の非常識を問い質したい。また、距離別料金がETCによって可能になるのであれば、償還区間を無料と言わないまでも値引きをして、新設区間をコストに見合う料金で設定をすれば誰も異論は無いと思う。

それよりも高速料金値上げの問題には<アメ>をちらつかされ、それに乗ってしまう人たちが現れることを危惧している。この手の場合に必ずと言っていい程、割引還元率と言う<アメ>が提示され同調する人が現れる。

その人たちは決して間違ったことは言っていない。それは組合目線で考えた場合であり、組合の多くが高速カードの手数料で組合運営をしている。そこで運営に参画をしている幹部の方達が<アメ>に乗ってしまいかねない場合があると言う事だ。

昨今の組合運営の厳しさは誰もが承知をしている。割引還元率が引き上げの提示があった場合、組合の立場から言えば悪い話ではないと言う判断に至ってしまいはしないだろうか?

この<アメ>は冷静に考えれば無意味なことで、割引率によって現行料金よりも安く成るはずは無い。協会として従来の通りの断固値上げ反対で貫き通し、是非、値上げを阻止していただきたい。

また、我々ロジ研もこの問題に対して慎重に検討、注意を喚起する必要があり、場合によっては関連との連携を図り行動に移るべきなのかもしれない。

ロジ裏 研ノ介

◇募集《ロジ研セミナー》

10月17日(月)17:30～東ト総合会館6階研修室におきまして、ロジ研第2回オープンセミナーを開催いたします。

講師の三橋 貴明氏(本名・中村貴司氏、1969年11月22日生)は、作家、経済評論家、中小企業診断士。株式会社三橋貴明事務所代表取締役兼所長、国家ビジョン研究会経済財政金融分科会副会長。経済評論家としては、経済成長と国益の重視を説き、デフレ不況から脱却せずに財政再建を優先させることに批判的な立場を取る。景気が悪化した際に積極的に財政出動した小渕内閣と麻生内閣の経済政策を高く評価している。

ペンネームである「三橋貴明」は、自身がインターネット掲示板で用いていたハンドルネーム、『三つ子の赤字神』に由来し、出版社の社長が名づけた。

政治ブログランキング1位(2年間)

14日(金)まで締め切り延長しますのでお申込をお待ちしております。

電話でも03-3359-4137(9時～17時)